

報告3：水谷尚子（中央大学非常勤講師）

中国ハリストス正教会と香港

ロシア正教会が本格的に中国に伝播したのは、ロシア革命による迫害から中国に逃れてきた白系ロシア人たちによる。以来ハルビン、新疆、上海、天津、北京などの各都市で、ロシア正教会は伝道活動を行ない、漢人社会の中に於いても、ある程度の信徒数を獲得するに至り、のちには教区としての中国ハリストス正教会が成立する。しかし、中国共産党が政権を掌握すると、香港を経由して多くの白系ロシア人が、今度はアメリカやオーストラリアにふたたび亡命していった。そうして漢人の信徒は、信仰を維持することが困難となっていく。

こうした歴史変遷を見続けた香港のハリストス正教会の歴史を解明するとともに、現代中国に於けるロシア族にとっての香港ハリストス正教会の役割を分析する。複雑な中ロ関係から、いまだ正教会は中国に於いて公式には宣教を許されていないが、香港のハリストス正教会は、信仰の灯火を絶やさぬようロシア族に対して出張での洗礼式やパニヒダ（葬儀）、婚配式を行ない、さらにはロシアでの生活を経て入信した漢人信徒へのサポートも行なっている。